

# 市蕨民主党の売りのクリーン 議・一関和一の頭上に暗雲

## 校内暴力に荒れる一関氏の息子

さて、地元の議員に纏わる投書がこのところ多くなってきた。選挙が近づくと軒並み増えてくるのがこの手の投書の特徴である。今回は隣町の蕨市議員一関和一氏に纏わる投書を紹介しよう。

去年、九州に視察旅行に行った議員が視察場所を離れ、競艇場に行つてしまい市民団体に訴訟を起こされ敗訴し、旅費を返還する事件があったが、その問題が大手新聞で報道されて間もないというのに北海道で行われた全国都市問題会議に出席を予定していた議員が会議を抜け出し小樽に観光に行つてしまったことが問題となった。

これらの問題を議会で追求して来たのが民主党系の一関和一氏であった。朝から蕨駅頭に立ち市民に熱弁を振るうその正統派のイメージで人気も高く、常に上立当選を果しており、その勢いで次期市長選挙出馬の意向もあつたので、今回ばら撒かれた怪文書は事実も含まれているだけに、市長選は愚か、市議選出馬をも断念せざるを得ないほどの打撃を与えたに違いない。

その投書は既に蕨市役所内にもバラ撒かれていて、一関議員の息子が校内暴力を起し、教師の顔を蹴り上げ顔面骨折の重傷を起したというのである。

めており深く反省している。詳細は未成年であることから配慮して控えることにする。問題は投書に記された、この不祥事を隠蔽する為に一関議員が議員バッチを振りかざし、教育委員会委員長や教育長に対して内密にするように指導し、目撃者を買収しているというものである。

もしも本当なら大変なことであるが、一関議員も秋山教育長も校内暴力の事実を認めているが隠蔽工作については否定している。

しかし一関議員は五期二十年という議員歴であるから、ある程度穏便に済ませようという考慮が関係者の中で働いても不思議ではないのだが、それまで否定してしまつては返つて嘘臭くなるだろう。

## 息子の事件隠蔽に議員バッチ!

それにしても次期選挙での打撃を加えるにはこれだけで充分に思えるのだが、更に投書は一関議員が関係する地元スポーツ団体に名義を無用やり奪おうとしているという問題にまで触れている。

このスポーツ団体とどのような関係なのか一関議員に聞いたところ、単に息子が入団しているお世話になつていただけで、何らトラブルも生じていないと当紙の取材に答えてはいたが、果たして本当だろうか。

その団体とは、いわゆる少年野球で蕨リトル

シニアというチームである。現会長は前戸田市議員・渡辺武男氏である。

最近、猪俣正人氏が事務局長となり活発に動いていたのだが、それに対する、前事務局長・澤野派とも言える旧体制が反発し問題となつている。澤野事務局長時代から

いる小松田氏や川畑氏といったコーチ陣は新事務局長・猪俣氏の提案にこごとく反発している。協調性がなく頻りに

乱を招いているのが前事務局長・岡田派であると猪俣派は主張するが猪俣氏が新たに迎え入れた星野新コーチが悪態をついた少年に注意をした際

持っていたバットを腹部に押し当てた(少年側は強く殴つたと証言)といふことで、その親子から弁護士を通じて問題追求される事態に陥つている。差し詰め旧体制岡田派と新体制猪俣派との派閥争いの材料になつているといつたところ。しかし、ここで一関議員が介入してくるから更に事態をややこしくする。

一関議員は確かに息子がチームに所属しているが、本来は中立の立場で問題の解決に当たらなければならぬ筈なのに前事務局長・岡田派を支持し、役員でもないのに臨時議会を開き、自ら議長となつて議事進行を執り行い、事務局長に岡田氏を選任し、自らを事務局

長補佐として議事承認を行い、議事録まで作成し、関係者各位に頒布した。

## 知らぬ所で押されたハンコの怪

更に蕨リトルシニアの上層部・北関東支部長に元凶が猪俣事務局長である(渡邊氏をよぼして)申し入れ、その支部長から猪俣事務局長の退任要求が蕨リトルシニア会長の渡邊武男氏の所にあつた。

渡邊武男会長の印鑑が押されて中山支部長の所へ解任要求が出されているが、渡邊会長は一度も合会には出席していない。渡邊会長は中山支部長から聞いて初めて猪俣解任要求がチームから出ていることを知つたのだといふ。

一関議員は議員という立場で言えば中立で問題收拾にあたるべきだし、渡邊会長は顔馴染みなのだから一言相談するべきではないか。何れにしても、大人のバカ争いごとで、野球をやりたいと集まつた子供達をガツクリさせないで欲しい。

今回ばら撒かれた投書は一関議員がとつたスポーツ団体での行動にからみ、自分の子供すら校

追伸  
先日、当紙記者が戸田市役所の職員に夜逃げ市議の福田延之が神奈川県で居酒屋をやっている

## 安藤昇

男の怒りに私憤と義憤の二つあり。

「我を生かし、見栄面子で怒るは私憤にして匹夫の勇なり。

「我を殺し、普通の正義を以て怒るは義憤にして侠の勇なり。

私憤に生命を賭するを与太者、義憤に生命を賭するを「国士」と呼ぶ。両者は似て非なるを知るべし。

国士の歩む道は正直なれど、火中の栗を拾うが如く労多くして報われることの少なし。

平成太平の世に真の国士は何処にありや。

内暴力に走り、教育出来な者には市議の資格もありません。資格もない!とそこかしこで反感を買つたつて感じかな。つづく

## 白倉康夫 敬天新聞の創刊おめでとう。政治屋、大蔵官僚、金融機関、官・教が一体となつて国民の血税を貪り私利私欲に走るいま、熱血の漢を以てこれに痛快至極。信ずる処にしたがつて奔馬の活躍を期待します。継続は力なり!。たとえ牛歩といえども歩き続けるならば、やがてその足跡は千里の道に印されることになるでしょう。

国士啓蒙家・白倉康夫君の前途に幸いあれ。

冗談で言つたら、そのことを地元で東南新聞がそのまま書いてしまった。よくよく調べたら、真相は、川崎駅前で焼鳥屋を経営、現在は福祉事業で稼いだ金を持ち逃げして迷惑を掛けてしまつた後援会の人達に返しに時々現れる、ということらしい。



民主党 蕨市議会議員・一関 和一氏

男の怒りに私憤  
と我憤の二つあり  
我を生かし  
見栄面子で怒る  
は私憤にして  
匹夫の勇なり  
我を殺し  
普通の正義を以て  
怒るは義憤  
にして侠の勇なり  
私憤に生命を賭する  
を与太者  
義憤に生命を賭する  
を「国士」と呼ぶ  
両者は似て非なるを知る  
べし  
国士の歩む道は正直な  
れど  
火中の栗を拾うが  
如く  
労多くして報われる  
ことの少なし  
平成太平の世に真の国士  
は何処にありや  
内暴力に走り  
教育出来な者には  
市議の資格もありません  
資格もない!とそこかしこ  
で反感を買つたつて感じ  
かな  
つづく  
追伸  
先日  
当紙記者が戸田市役所の  
職員に夜逃げ市議の  
福田延之が神奈川県で  
居酒屋をやっている